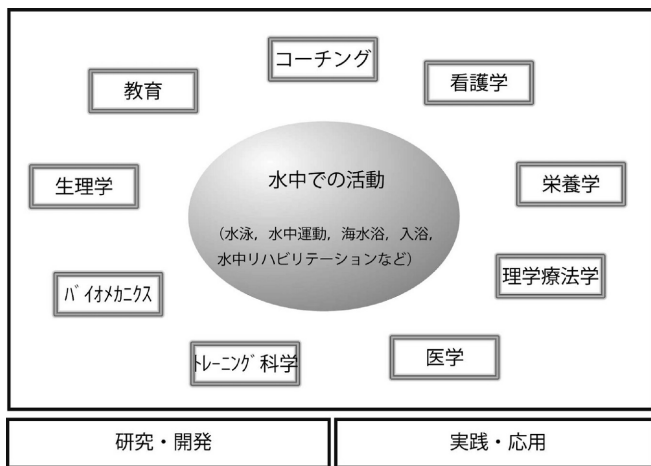


O-3

アクアヘルス推進プロジェクト研究センター【成果発表】

新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・佐藤大輔

本研究センターは、健全な子どもの育成（問題解決能力やコミュニケーション能力の育成）や市民のQOL向上（生きがいがづくり）を推進することによる地域活性化を目指し、平成21年度に設立された。特に、水中での活動（例えば、水泳、水中運動、海水浴、入浴、水中リハビリテーションなど）に特化することで、センターの存在価値を高めてきた。また、教育、コーチング、生理学、バイオメカニクス、トレーニング科学、医学、理学療法学、看護学、栄養学といった多分野の専門家によって構成されており、多角的な研究開発ならびに実践への応用を実施してきた（図1）。



・健全な子どもの育成 ・市民のQOL向上

図1. 本研究センターの概要

研究・開発について、4年間で著書・原著論文33本、科学研究費補助金9件、その他の研究助成2件、学会発表60件、講演44件の業績を積み重ねた（表1）。研究内容は、競技水泳におけるパフォーマンス測定やパフォーマンス向上のためのトレーニング開発などの競泳関係分野、水中での中枢神経活動の解明やリハビリテーションへの応用などの水中生理学分野、水泳や水中運動介入が生活機能へ及ぼす影響などを調べた理学療法学分野、競泳選手のトレーニングと栄養摂取の関係性などを調べた栄養学

表1. 過去4年間の業績数

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	計
著書・原著論文	6	11	12	4	33
獲得研究費					
科研費	1	2	3	3	9
科研費以外	1	1	0	0	2
学会発表	6	20	23	11	60
講演など	6	10	17	11	44

分野、水泳による障害について調べた医学分野など多岐に渡る。その研究遂行のために獲得した科学研究費補助金も初年度を除いて複数件獲得した。また、これらの研究成果を指導者や一般市民に向けて発信する講演も44件行った。

次に、実践活動について、4年間で子ども水泳教室11回、幼児運動教室4回、中高齢者健康教室8回、総合型地域スポーツクラブとの共同事業5回、民間スイミングクラブとの協働事業8回を実施した（表2）。特に、子ども水泳教室ではのべ261

表2. 過去4年間の実践活動数

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	計
子ども水泳教室	3	2	3	3	11
幼児運動教室	0	0	1	3	4
中高齢者健康教室	1	3	2	2	8
他団体との協働事業					
総合型地域スポーツクラブ	3	1	1		5
民間スイミングクラブ	4	2	1	1	8

名、幼児運動教室ではのべ25名の子ども達が、中高齢者健康教室ではのべ70名の地域中高齢者が、本学屋内プールを用いた本センター主催および共催の活動に参加した（表3）。

表3. 過去4年間の本学での実践活動における参加者数

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	計
子ども水泳教室	35	24	88	114	261
幼児運動教室			5	20	25
中高齢者健康教室	7	17	25	21	70

上述のように、本研究センターでは、研究・開発活動で積み上げた基礎的知見を実践・指導現場に応用する系統的な活動を実施してきた。本発表では、その一部をご紹介します。

(写真) 子ども水泳教室での様子



(写真2) 中高齢者健康教室の様子

